（様式第１号） 　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　記入例

犬猫殺処分ゼロ推進活動事業計画書

１　応募団体・グループ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名　称 | チームいばらき犬猫殺処分ゼロ | （ふりがな）代　表　者 | いばらき　たろう茨城　太朗 | 会員数 | ７人 | 男性(　３)人女性(　４)人 |
| 所在地 | 〒３１０－○○○○　　水戸市○○町○○－○○ | ＴＥＬ（０２９）３０１－○○○○ＦＡＸ（０２９）３０１－○○○○ |
| 連絡先 | 〒　　　－　　　　 　　Mail:seiei1@pref.ibaraki.lg.jp | ＴＥＬ（０２９）３０１－○○○○ＦＡＸ（０２９）３０１－○○○○ |
| 団体の概要 | （規約・定款を添付でもよい）動物愛護推進員「茨城太朗」を中心とした動物愛護の啓発を行うグループ | 対象地域水戸市○○町 | 対象者　○○町の10代～50代の住民 | 参加予定者数　　　　　　５０人 |

２　事業内容等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 　みんなで考える猫との共生 | 申請額 | 　　　　　　　　　　　　　５０，０００　円 |
| 区　分 | 　①教育に資する取組　　　　　　　　②その他の取組　　　　　　　※いずれか一方を丸で囲んでください |
| 事業の内容 | ＜目 的＞　水戸市○○町は、野良猫による騒音、悪臭などの被害が多い地域である。　地域猫活動を実施するには、未だ住民の理解が進んでいない。そこで、猫の習性や猫による被害を防止する術を地域住民に伝えるとともに、地域猫活動への理解の醸成を図る。＜内 容＞ 　猫の習性や地域猫活動の取組に詳しい講師を招き、○○公民館において講演会を実施する。併せて地域猫活動を紹介する小冊子を配布する。　講演後にはアンケートを実施するとともに、参加者による猫と共生するための課題解決方法について議論する。 |
| （特に独自性などのアピールポイントがあれば記載してください。）　ただ、講演を聞くだけではなく、住民同士が話し合うきっかけをもつことが、この取組の肝になるところです。 |
| スケジュール | ８月～９月：小冊子の作成９月　　　：講師の依頼 |
| ９月　　　：参加者のとりまとめ１０月　　：講演会の実施 |
| 活動の実績 | ・　令和２年～　：　ひたちなか市○○町でＴＮＲ活動を実施・　令和３年９月：　水戸市○○町で地域猫活動に関する講演会を開催その他、茨城太朗は県が行う普及啓発活動に積極的に参加してきました。 |
| 事業の実施により得られる効　果 | ・　水戸市○○町における猫による環境問題を地域みんなで解決するべき問題との共通認識が得られる。・　地域猫活動に取組む素地の醸成 |

（様式第2号） 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入例

|  |  |
| --- | --- |
| 団体・グループ名 | チームいばらき犬猫殺処分ゼロ |

収　支　計　画　書

１　収入内訳書 　　　　 （単位：円）

|  |  |
| --- | --- |
| 内　　　　容 | 予　算　額 |
| 事業参加費（５００円×５０人）自己負担金　県補助金 | ２０，０００円３０，０００円５０，０００円 |
| 合　　　　 計 | １００，０００円 |

２　支出内訳書 　　　（単位：円）

|  |  |
| --- | --- |
| 内　　　　容 | 予　算　額 |
| 報償費：講師１名（１０，０００円／時間　×　４時間）旅　費：１，０００円　×　１０日　×　２人　　　※　講師との調整や小冊子作成のための旅費　消耗品費：コピー用紙、筆記用具会場使用料通信運搬費：郵送費、通信料印刷製本費：チラシ、ポスターの作成 | ４０，０００円２０，０００円１０，０００円１５，０００円５，０００円１０，０００円 |
| 合　 　　計 | １００，０００円 |